



社会との共創プロジェクト

祝

大学や研究機関、企業、自治体等と連携して探究活動に取り組み、問題発見・解決能力を高めることを目的とし、半年以上活動してきた今年度の「社会との共創プロジェクト」の成果発表会が1月10日(金)に行われました。その発表会の審査を経て、本校からは2チームが2月1日(土)、北海道大学で開催された「探究チャレンジ・アジア」に参加しました。



北海道知事賞授与後の集合写真

「探究チャレンジ・アジア」では、全道から29チームが一堂に会し、英語での口頭発表やポスターセッションにて、これまでの研究内容を発表しました。

共生社会の実現を目指して、浦河町で増えているインド人の女性と子どもを対象に研究してきたグループ「絵本で繋がる、私たち」は、日本語での発表に加え、英語でも発表や質疑応答をしました。そして、安全・安心な社会を目指して研究してきたグループ「防犯ブザーが、世界の女性を救う!」は、**最高賞となる北海道知事賞を受賞することができました!**



様々な人達に支えられ、北海道知事賞を受賞することができました! 今後も調べてきたブザーについて、多くの人に知ってもらえるように活動していきたいです!

「防犯ブザーが、世界の女性を救う!」

福沢 颯織さん



今後も、この活動を通して身につけた英語力などを活かして、外国人と関わりながら、共生社会の実現を目指していきたいです!

「絵本で繋がる、私たち」

鹿糠澤 梨乃さん



浦河町理事者報告会



令和6年度浦河町役場理事者報告会を実施しました。この報告会は、本校の教育に関してより深い理解をしていただくことで、地域協働の深化の一助とすることを目的としています。浦河町理事者（浦河町長・副町長・教育長）、浦河町職員の方々のほか、本年度は様似町教育長、様似町職員の方にも参加していただきました。

報告会では、まず、10月下旬に福岡で実施した福岡県立小倉南高等学校の交流事業で学んだことや経験について報告を行いました。そして、避難生活時に摂取できる栄養素が偏ってしまうことに着目し、地元食材を使った安心安全な防災食の研究や、障がい者の方々がより生活しやすい社会を実現するために必要なことについての研究をした班など、様々な課題解決に向けて研究を進めた代表5グループによる発表が行われました。

北海道高等学校総合学科成果発表会

人生を課題研究と思って、
行動を続け、楽しみたいです！

1月24日（金）に札幌市で、令和6年度北海道高等学校総合学科学習成果発表会が開催されました。この発表会は、全道総合学科の代表者が一堂に会して学習の成果を交流し合い、探究活動のさらなる充実を図ることを目的にしたものです。

本校からは、スポーツ人口の減少をテーマに研究を続けてきた、3年次課題研究9班の谷口 翔也さん、飯岡 希空さん、松田 健伸さんが班を代表して参加しました。

4月から社会人の
松田さんの一言



野球しようぜ！

課題研究9班

松田健伸

谷口翔也

飯岡希空

佐々木宝

高城弘太郎



当日の発表の様子

